

議会報告会報告書

開催日時	平成27年10月18日（日） 19時00分 ～ 20時43分	
開催場所	南下浦市民センター 講堂	
出席議員	代表者	小林直樹
	司会者	長島満理子
	報告者	下田 剛 小林直樹 神田眞弓
	記録者	下田 剛
	その他	岩野匡史議長ほか8人の議員
参加人数	23人	
報告会の概要	<p>三浦市議会議長あいさつ</p> <p>議会運営委員長より趣旨説明</p> <p>南下浦地区担当議員の紹介</p> <p>1 議会改革の取り組みについて 報告後、質疑応答</p> <p>2 三浦市の課題について</p> <p>「(仮称) 市民交流拠点整備事業〔A地区〕について」 報告後、質疑応答</p> <p>「青少年会館の耐震診断結果を受けて」 報告後、質疑応答</p>	

	参加者からの質疑	議会の回答
報告に対する 質疑応答	<p>【議会改革の取り組みについて】</p> <p>議会基本条例に基づいて議会の改革をされているということだが、三浦市議会議員政治倫理条例の第5条。その中に、「議員の配偶者又は2親等以内の親族若しくは同居の親族が役員又は出資をしている法人等は、市が行う請負その他の契約については、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第92条の2の規定の趣旨を尊重し、市民に疑惑の念を生じさせないように努めなければならない。」とあるが、以前それに抵触した元議員がほとんどを返金したと聞くが、本年初めに別の元市議が抵触している前議員がいると指摘したがいかなものか。以前の件や本年の件はどのような法律、条例を基にしているのか説明を頂きたい。</p> <p>前回の議会を久しぶりに傍聴させて頂いた。その際、レベルが低いことに驚いた。議員定数を2人削減して年間約2,000万円の削減とあったが、現状の市の財政を考えると少なすぎる。報酬をもっと削減しなければならないのでは。検討を頂きたい。議員報酬が高すぎると言っている議員もこの中にはいるが、今後の考えをお話し頂きたい。</p> <p>三崎中学校の体育館の建設中を視察に行ったと聞いたが、旧三崎中学校を旧上原中学校に移したとの認識で宜しいか。また、どちらの生徒数が多くて検討したの</p>	<p>ご存知の通り、その当時、前議員は辞職をしていて、調査はしていない。政治倫理条例に照らし合わせてどうなのか、ということに関しては、辞職して存在していないので調査は出来ない。</p> <p>.....</p> <p>(補足)</p> <p>質問内容「以前それに抵触した元議員がほとんどを返金したと聞く」について、三浦市議会における経過と異なる点があったため補足を行いたい。</p> <p>実際のとてん末は、以下のとおり。</p> <p>当時、議員に支給されていた調査研究費について、領収書は存在するものの用途の詳細を確認できなかったものについて返金を行った。</p> <p>なお、三浦市議会議員政治倫理条例は、本件以降に制定されたもの。</p> <p>議員報酬の件は検討したい。前回、議員削減含めて議論したが、今回も議員報酬の件を改めてご提起頂いたので検討していきたい。</p> <p>そのとおり旧三崎中学校の生徒を旧上原中学校に移した。旧上原中学校の生徒が多かった。生徒数は、後日、回答したい。</p>

	<p>か、それぞれの生徒数を聞きたい。 そして、そのような実績があるうえで、南下浦活断層が動いた際に危険である南下浦中学校の生徒を三崎中学校や初声中学校に移す検討はされていないのか。</p> <p>【三浦市の課題について】 「(仮称) 市民交流拠点整備事業」 説明頂いたものが漠然過ぎて、果たして年間450万円と賃借料を「ベイシア」から差額としてとることが、費用対効果として適切なかわからない。公共的機能がどういうものなのか具体的に説明頂きたい。</p> <p>年間450万円の差額で市民として納得できるのか。市が単独でした場合どのくらいかかるものなのか教えてほしい。 差額として年間450万円入ってきたとしても、別の使用方法を考えたり費用対効果を議会として検討把握はしていないのか。</p>	<p>南下浦中学校は耐震補強工事がされており、おおよそ震度6程の揺れには耐えられる建物だと考えているので、現状、三崎中学校や初声中学校に移すという検討はしていない。</p> <p>.....</p> <p>(回答) 新三崎中学校の平成26年4月時点の予定生徒数は、旧三崎中学区128名、旧上原中学区273名という内訳だった。</p> <p>建物としては、6,947平米の建物を作る。公共部分は市民交流センターという名前で、基本的な機能は市民活動支援機能。施設構成は、事務室、研修室が3部屋、給湯室、印刷室、相談室、会員制のワークルーム、打ち合わせ広場、多目的スペース、小網代の森インフォメーションスペース、倉庫、通路、トイレとなっている。</p> <p>例えば、市が単独で450平米の建物建てた場合の試算は具体的にはしていないが、1平米当たり100万円とすると4億5,000万円になる。「ベイシア」が建てた場合、市が建物を借りるお金が2億6,100万円、土地の賃料で市が3億5,600万円をもらうことになる。建物を市が借りることで「ベイシア」に払うことになる2億6,100万円は、あくまで20年間。差し引いた9,500万円が20年間で市に入ってくることになる。</p> <p>土地の貸付料は、固定資産税評価額や路線価を基準として計算している。また、</p>
--	---	---

	<p>【その他】</p> <p>二町谷の件、「吉龍」の件、誰が責任をとるのか。「吉龍」と三浦市は、どのように最初の接点を持ったのか。</p> <p>前回の報告会で議長が検討する（二町谷）と言っていたが報告がない。どのような検討がされたのか。</p>	<p>市が借りる市民交流センターの賃料も近隣の賃料を比較している。算出根拠を示して条件に合致した。</p> <p>端的にいうと、市の方に土地を購入したいとご意向があった。全会一致で賛成しているので、チェック機関として議会の責任というものも問われる。議会として繰り返し検証したい。最初の接点については承知していないが、調べて回答したい。</p> <p>.....</p> <p>(回答)</p> <p>平成19年から二町谷埋立地の分譲に取り組む中で、平成24年10月に県内の不動産会社から「吉龍」が三浦市に紹介され、市職員が現地案内をしたのが最初の接点であった。</p> <p>チェック機関として十分だったかということはある。今後そういう事案が出てくれば、議会としても徹底した調査が求められる。議会としての役割は果たしたい。</p>
<p>参加者からの意見・要望等</p>	<p>参加者からの意見・要望等</p> <p>【議会改革の取り組みについて】</p> <p>本会議の傍聴を初めて9月にした。答弁中に私語が聞こえる。真剣に答弁を聞いてほしい。また、お金のことをもっと討論するべきでないか。</p> <p>【三浦市の課題について】</p> <p>「(仮称) 市民交流拠点整備事業」</p>	<p>議会の回答</p> <p>発言者より答弁不要とのこと。</p>

	<p>三崎高校についてはずっとどうなるか、市民の最大の関心事だと思っている。私たちは「道の駅」の設立が念願である。一向に三浦全体の町興しというのが考えられなくて、突然と三崎高校の問題がかなり具体的に進んでいる。20年間で9,500万円のお金が入ってくるという話があったが、市民感覚では億単位の計算はしたことがないが、市役所でもプロの指導を受けていると思うが、出てきた企業に丸投げしていないか。もう少し三浦市に有利なお金の採算がないのかと思う。その中で町興しを考えて「道の駅」等が組み込まれたらと思う。企業は売り上げだけを考えて三浦市のことは考えてくれない。</p> <p>この説明をするのに資料がないのは何故か。参加者に資料を配布して欲しい。</p> <p>「青少年会館」</p> <p>三浦市というのは、建物が少ないと実感している。市民センターを利用したくても二カ月先になってしまう。何かを計画しても実行できない状況である。青少年会館・初声市民センター・南下浦市民センターの真ん中にあるのが三崎高校跡地だと思うが、その中で、勤労市民センターも一時廃止するという話も出てきた。今度は青少年会館で、青少年会館は耐震が駄目で、簡単に建物を壊すというのは、老朽化を考えていないのか。どこを借りられるか、代替があるのか。作った時から次に建てるのは30年後と考えるといけない。建物を建ててから管理をしていかななくてはならない。三浦は交流が出来る建物が少なすぎる。無計画すぎな</p>	<p>年間450万円だが、現状の校舎を壊すお金等、市が単独でするとそれも出費となる。三崎高校跡地については、様々な方から様々な利用が考えられた。三浦市の観光情報や農水産物のPRを図ると「ベイシア」から提案されている。</p> <p>財政的という観点だけではなく、青少年会館は教育委員会等が入っている施設である。その事も含めて検討したが、市民の安全を考えての閉館ということになった。</p> <p>お集まりの詳細を市の方に連絡して頂ければ、出来る限りお望みに近い代替施設が案内されると思う。</p>
--	--	--

議会報告会の様子



○南下浦地区担当の班員

説明員（左側）

左から

下田 剛議員

神田眞弓議員

小林直樹議員

司会（右側）

長島満理子議員

○報告会会場の様子



○質疑応答の様子